

# 顔の見える木材での快適空間づくり事業

事業実施主体:おおさか都市木プロジェクト  
事務局 一般社団法人 大阪府木材連合会

## 【テーマ】顔の見えるおおさか都心密集市街地木材循環モデルの開発

### 背景と目的

#### 【背景】

- ・SDGs、ウィズコロナ、アフターコロナ社会への都市木質化の需要
- ・大阪産材の顔の見えるサプライチェーンの構築必要性
- ・維持管理やメンテナンスも考慮した木質化推進の必要性

#### 【目的】

- ・森林も都市マンションユーザーも持続可能な木材循環活用モデルを構築

### 対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

都市部におけるマンション需要向けの木材製品(A)と木材製品に必要なメンテナンスに必要な資金を獲得するための都市木シェア商品(B)をセットで製品開発し、付加価値の高い単製品だけでなく、買い手の維持管理費用捻出にも貢献する木取り・木材製品を開発。

※製品開発後は、2020年3月竣工の都市部賃貸マンションへ導入予定  
＜製品開発後の展開イメージ／検証導入先＞

- ・大阪府天王寺区寺田町／20戸の賃貸マンション／1階には、カットサロン等が入居予定。あわせて近隣にも子育て支援施設あり。

大阪府産材にて、付加価値製品(A)と都市木文化を醸成し、施主の維持管理費用を捻出する製品(B)を検討

#### 都市部導入製品

- ・共用部ウッドデッキ
- ・エントランス
- ・軒天井
- など板材

#### 開発する製品の導入イメージ



#### 都市部シェア木材商品、販売商品など

- ・マンション住居人への貸出屋台
- ・プレスクール木育玩具 など
- (・パンフレット作成し、自宅への購入へつなげる)



### 実施体制・連携グループ

＜おおさか都市木循環プロジェクト＞

大阪木材サプライチェーンに関係する川上・川中・川下による体制

- 一般社団法人 大阪府木材連合会 ※事務局
- おおさか木材コーディネーター、製材所、製品開発等：有限会社田中製材所
- 大阪産材調達：株式会社南河内林業
- 都心密集市街地開発者／マンション事業者：大室組
- 施工面等に関する助言：まこと建設株式会社
- 循環活用に関する設計・検討、パンフレット作成、全体コーディネート  
事後のモニタリング・検証、体制構築：(株)地域計画建築研究所(アルパック)

### 事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①A材丸太の付加価値が高く、森林と都市の継続的な循環を生み出すビジネスモデル・製品群の創出
  - ・モデルフィールドにおける木質化可能箇所の洗い出し
  - ・インターネット調査における既存製品・競合製品の洗い出し
  - ・不動産事業者、金融機関、まちづくり拠点、幼児教育施設等の運営事業者等へのヒアリング(評価検証箇所の抽出)※制作後にも再度ヒアリング
  - ・おおさか産材の特徴を踏まえた製品企画・開発
- ②循環を生み出すA材丸太の付加価値の高い製品群の開発・制作
  - ・大阪産材を活用した都市マンションへの導入可能な製品の開発・制作
- ③製品群ビジネスモデル普及のためのパンフレット作成、販促計画検討
  - ・①～②のプロセスも含めたパンフレットの作成、ターゲットヒアリング
  - ・販促計画の検討
- ④試行(フィールドテスト)、報告会開催およびモデル検証のための体制構築
  - ・フィールドテスト、報告会開催
  - ・継続的に検証していくための評価指標の設定、体制構築

### スケジュール

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

ビジネスモデル、製品群開発

パンフレット作成、販促計画

制作

試行、報告会、体制構築